

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 高知県
本事業の担当部局名 子ども・福祉政策部子育て支援課

Table with columns for business menu, district, related business menu, individual business name, implementation period, total cost, and detailed cost breakdown. Includes a section for '自治体における少子化対策の全体像及びその中の本個別事業の位置付け' and a list of items with descriptions.

個別事業の内容

3	<p>婚活の前段階である仲間づくりイベントの開催(社会人交流事業)</p>	<p>コロナ禍以降、出会いや交流の機会が減少している若い世代に対し、興味関心に応じて集い、ライフプランも学べるハードルの低い出会いの機会として、マッチングのない「社会人交流事業」を開催する(年13回開催 参加者数計480人)。体験型イベント実施にあたっては、企画・運営を民間事業者に委託し、参加者同士の円滑な交流や連絡先の交換がしやすい環境づくりを支援する。</p> <p>イベントと有機的に連携する取組として、イベント前のアイスブレイクとなるようなライフプランセミナーを実施し、体験型のイベントと併せて若い世代の交流の活性化や、こうち出会いサポートセンターのパンフレットや広報グッズ、県作成の子育て支援等リーフレット(出会い・結婚、妊娠・出産、子育て、ワークライフバランスに関して、国や県の制度を紹介したもの)を配布し、県の婚活支援事業を周知する。これにより、様々なライフプラン設計の一つとして、結婚・妊娠・出産の気運醸成を図り、婚活事業への登録を促進する。</p> <p>また、県はイベントを実施し、市町村は県イベント内容の提案または助言(時期、会場への交通手段、混み具合など)を行うなど、県・市町村で連携して実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場の使用申請 ・資機材等の貸出・提供 ・庁内および企業・団体への広報 <p>【連携先:高知市・安芸市・土佐清水市・香南市・香美市・奈半利町・芸西村・本山町・越知町・日高村・黒潮町は、会場の紹介、イベント内容の企画提案に参画し、それに伴う職員の人件費を負担】</p>
4	<p>県事業(イベント・マッチング・婚活サポーター)の利用に伴う広報</p>	<p>過去の広報物から、周知の容易さと効果をもとに、広報手段を絞る。また、印刷物系統(下記①～⑤)はSNSやホームページへの誘導のために利用する。</p> <p>また、市町村において、県の広報媒体を活用して住民に周知してもらうなどの連携を行う。</p> <p>広報媒体:①出会い支援事業パンフレット、②二つ折りカード、③ポケットティッシュ、④ポスター、⑤チラシ、⑥SNS広告(Instagram、Youtube)、⑦SNS運用(Instagram)</p> <p>(1)広報の目的:出会い・結婚支援事業の認知度向上、独身者等への活用促進</p> <p>(2)訴求対象者:独身者及び独身者の親や支援者等</p> <p>(3)当該広報媒体の選定理由</p> <p>①～⑤ 市町村・企業・イベント会場等で、広域かつ幅広い年代への配布ができる。</p> <p>⑥、⑦SNSを通じて幅広い世代に、イベントやキャンペーンの情報を発信できる。</p> <p>(4)広告スペース及び掲載回数</p> <p>①～⑤</p> <p>⑥動画作成15秒、⑦月9回投稿。うち動画(月1本程度)</p> <p>(5)想定リーチ数</p> <p>⑥下記のとおり</p> <p>Instagram:31.5万回 YouTube:15.75万回</p> <p>(6)広報物の作成部数と配付先</p> <p>①1,000部 配付先:応援団等企業、市町村、県・センター</p> <p>②30,000枚 配付先:応援団等企業、県・センター</p> <p>③10,000個 配付先:応援団等企業、サポーター、県・センター</p> <p>④500部 配付先:応援団等企業、コンビニ、市町村、サポーター、県・センター</p> <p>⑤15,000部 配付先:コンビニ、市町村、サポーター、県・センター</p> <p>【連携先:高知市・安芸市・土佐清水市・芸西村・いの町・日高村・黒潮町は、自市町村で実施するイベントの参加者に直接声掛けし、それに伴う職員の人件費を負担】</p>
5	<p>サポーター(婚活サポーター・サブサポーター・マッチングサポーター)研修の開催(養成講座・スキルアップ研修)</p>	<p>○ サポーター養成講座</p> <p>サポーター制度の内容、活動の流れ、相談時の注意事項等を記載したパンフレットを活用し、婚活サポーターが独身者や子どもの結婚を望む親等から相談を受けた際に制度の説明資料として用いるとともに、婚活サポーター制度の広報資料として用いる。</p> <p>特に、独自の婚活サポーター登録制度や、県婚活サポーターを活用した独自の相談窓口の設置、県の実施する養成講座を活用した婚活サポーターの登録を行っている市町村については、自治体間連携により、積極的に養成講座を実施するとともに、協議会、交流会への参加を促す等、県内全域にわたるサポーター活動の活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配付先:婚活サポーター・サブサポーター1部×240人=240部、県(新規勧誘分)160部 ・実施回数等 4回以上開催、参加者10人程度/回 <p>なお、県は養成講座を主催し、市町村は以下の対応を行うなど、県・市町村と連携して実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場使用申請 ・自治体職員による講座内での自市町村の結婚支援事業(結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援プログラム含む)の紹介 <p>【連携自治体:安芸市・芸西村・越知町・四万十市は、会場の手配や講座内での事業紹介を行い、それに伴う職員の人件費・会場借り上げ料を負担】</p> <p>○ スキルアップ研修</p> <p>サポート活動の研鑽にあたる研修を実施する。また、県登録のサポーターだけでなく市町村独自で登録されているボランティアも対象として、受講できるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数等 2回開催、参加者80人(婚活サポーター60人、マッチングサポーター20人) <p>【連携自治体:四万十市は、会場の手配を行い、それに伴う職員の人件費・会場借り上げ料を負担】</p> <p>○ 広報</p> <p>民生委員、自治会役員、JA女性部会員、教職員・県職員OB、市町村職員等に参加の呼び掛けを行うとともに、市町村と連携して人材発掘に努める。また出前型、オンライン型での養成研修の実施により、受講者の利便性の向上とサポーター不在地域での登録を進める。</p> <p>【連携自治体:安芸市、四万十市は、管内の関係者に声掛けし、それに伴う職員の人件費を負担】</p>
6	<p>サポーター活動活性化事業</p>	<p>サポーターの活動状況について情報交換等を図るため、サポーター交流会の開催(県内3ヶ所での地区別交流会や全体交流会)や、サポーター通信の発行等を実施する。</p> <p>また、婚活サポーター連絡協議会において、各地区ごとの意見を集約するなど、全県規模での情報交換の場を持つ。協議会には、各地区の組織代表が参画し、①相談事例への対応策などの検討、②相談者情報の交換、③サポーター同士の交流、④出会いイベントの実施、⑤サポーター登録の勧誘活動等の議論を行う。</p> <p>今後も、サポーター・相談者数や、相談者のお引き合わせ数の増加のための具体的な対策について、より地域に密着した支援の検討を重ねるため、婚活サポーターに対して、全県的な成婚率増加に対する課題や支援の取組について共有する。</p> <p>さらに、市町村において、婚活サポーターの成り手を県に紹介するなど、人員確保について連携を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区別交流会 3地区(東部・中部・西部)各1回開催、参加者計50人 ・全体交流会 1回開催、参加者50人(婚活サポーター30人、サブサポーター20人) <p>【連携自治体:安芸市、四万十市は、会場の手配や成り手の紹介などを行い、それに伴う職員の人件費・会場借り上げ料を負担】</p>
7	<p>婚活サポーター連絡協議会の設置及び運営</p>	<p>組織的に活動するサポーター団体は県中部地区のみであったが、平成30年に西部・東部地区でも団体を設置した。平成31年2月には、県内3地区の代表による「高知県婚活サポーター連絡協議会」を創設し、各地区団体での活動の情報共有や情報交換を行っている。さらに、令和5年度からは新たに3団体のサポーター団体が加入している。しかし、令和6年度からは3団体が解散・活動休止している。</p> <p>また、各地区団体においては定期的に交流会(サポーター同士、独身者同士)や出会いイベントを開催するなど婚活サポーターが自ら組織的に活動する形が出来上がってきているため、引き続き本協議会の運営を行う。</p> <p>さらに、市町村において、婚活サポーター制度や活動団体等を住民に周知してもらい、人員確保について連携を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・婚活サポーター連絡協議会の運営 1回開催 ※連絡協議会団体:3団体 <p>【連携自治体:安芸市、四万十市は、成り手の確保・紹介などを行い、それに伴う職員の人件費を負担】</p>

8	メタバースプラットフォームを活用した出会いの場の創出(メタバース婚活事業)	<p>高知県が実施した県民意識調査において、「結婚していない理由」を尋ねたところ、「適当な相手にまだめぐり合わないから」を挙げた回答者は38.4%と最多であったことから、出会いの機会の創出を継続して行う必要がある。</p> <p>また、高知県への移住者数等は増加傾向にあり、今後更なる増加に向けて、独身のUターン希望者へのアプローチを強化していく必要がある。</p> <p>令和7年度に開催したメタバース交流会(全3回)では、マッチング率が平均50%という結果が出ている。これらを踏まえ、メタバース(仮想空間)プラットフォームを活用したイベントを継続して開催する。これにより、『結婚に向けた活動をしている層(活動層)』、『結婚に向けた活動をしていない・できていない層(未活動層)』、『高知県に移住意思のある独身のUターン希望者』に対して、心理的・物理的・時間的なハードルが低く、若い世代の興味を惹く婚活イベントを実施することができる(目標動員数60人)。</p> <p>また、既存事業(社会人交流事業や他部署が実施するイベント)との連携により、メタバースの認知度向上に向けた体験会を実施することで、メタバース交流会への参加者の増加につなげる。</p> <p>友活・恋活・婚活イベントを実施する市町村には、イベント参加者(住民)にメタバース交流会の周知を行ってもらい、参加者の確保において連携を行う。</p> <p>【連携先:高知市・安芸市・土佐清水市・芸西村・いの町・日高村・黒潮町は、自市町村で実施するイベントの参加者や窓口相談にあった独身者に直接声掛けをし、それに伴う職員の人件費を負担】</p>
9	マッチングアプリとの連携による未活動層の活動促進(マッチングアプリ連携事業)	<p>・こども家庭庁の調査では、既婚者の4人に1人が「マッチングアプリ」をきっかけに結婚相手と出会ったという結果が出ている。</p> <p>・一方、令和7年度県民意識調査(回答者1,391人)で、「結婚に向けた出会いを求める場合、どのようなきっかけで知り合いたいと思うか。(もしくは、結婚相手とはどのようなきっかけで知り合ったか。)」という質問に対して「マッチングアプリや民間の婚活サイト」と回答した人が15.3%という結果が出ており、実際・結婚成率に反して、高知県ではあまり活用されていないことがわかる。</p> <p>・このことから未婚者の35%(ボリュームゾーン)になる『結婚に向けた活動をしていない層』に対して、マッチングアプリと連携し、「恋愛リテラシー向上」や「出会い・結婚の気運醸成」を図ることで、婚姻数の増加を目指す。</p> <p>【連携先:高知市・安芸市・土佐清水市・芸西村・いの町・日高村・黒潮町は、自市町村で実施するイベントの参加者や窓口相談にあった独身者に直接声掛けをし、それに伴う職員の人件費を負担】</p>
10	大規模恋活イベントの開催	<p>タイムパフォーマンスを重視する若者のニーズに応えるため、100名規模の参加者を一堂に集め、専用のアプリによりプロフィールを確認してお相手をお相手を探る「大規模恋活イベント」を開催する。</p> <p>【連携先:高知市・安芸市・土佐清水市・芸西村・いの町・日高村・黒潮町は、自市町村で実施するイベントの参加者や窓口相談にあった独身者に直接声掛けをし、それに伴う職員の人件費を負担】</p>

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>

【課題】

- ・県民意識調査で「未婚者が結婚を選択しない理由」という問いに、若い年代ほど「今は、趣味や娯楽を楽しみたいから(23.2%)」、「今は、仕事(または学業)に打ち込みたいから(22.5%)」と回答している。
- ・一方、「将来結婚したいか」という質問に対しては、約5割が「いずれは結婚したい」と回答している。
- ・上記のことから、出会いや結婚に向けた活動を時間的ハードルに感じている層に対して新たなアプローチが必要である。

【現状】

- ・現行の「高知で恋しよマッチングサイト」では、1×1の真剣交際のみを導入しているため、同時並行ができない。(相手から承諾がなかった場合は手順が最初まで戻るようになるためタイムパフォーマンスが悪い。)
- ・また、婚活イベントの参加人数は、イベントの進行や参加者情報の把握が困難になることから、最大規模でも30名程度となっており、タイムパフォーマンスを重視する若い世代からは魅力的に見えない。

【取組】

- ・マッチングシステムにタイムパフォーマンスを重視した「お友達交際機能」を導入し、交際期間の短縮や成婚者数の増加につなげる。
- ・また、参加者情報や連絡をアプリ内で行うことができる「大規模恋活イベント」を開催することで、若い世代に魅力的な交流の機会を創出し、出会い・結婚に向けた活動を行う層の増加につなげる。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		%	1.64 (R9)	1.25 (R6)
	安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できる社会になっていると考える人の割合		%	50 (R9)	26.1 (R7)
	①理想的なこどもの人数②現実に持ちたい子どもの人数		人	双数值の上昇・ 双数值差の縮小 (R8)	①2.14 (R7) ②1.77 (R7)
	平均初婚年齢(夫・妻)		歳	年齢低下 (R8)	夫30.6歳 (R6) 妻29.5歳 (R6)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.25 (R6)	
	婚姻件数		件	2,071 (R6)	
	婚姻率			3.2 (R6)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	マッチング会員登録者数	人	860 (R8)	573 (R8.1)
	②	出張登録閲覧会の参加者数	人	40 (R8)	26 (R7.12)
	③	各イベントへの参加者数	人	社会人 500 メタバース 60 77*リ連携 420 大規模 200 (R8)	社会人 441 (R8.1) メタバース 27 (R7.11) 77*リ連携 14 (R7) 大規模 —
	④	婚活サポーター・婚活サブサポーター・マッチングサポーター登録者数	人	婚サポ 80 サブサポ 30 Mサポ 80 (R8)	婚サポ 71 サブサポ 20 Mサポ 77 (R7.12)
	⑤	サポータースキルアップ研修参加者数	人	40 (R8)	36 (R7.12)
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	社会人 90 メタバース 90 77*リ連携 75.0 (R8)	社会人 83.6 (R8.1) メタバース 85.2 (R7.11) 77*リ連携 75.0 (R7)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	マッチングシステムお引き合わせ申込み数	件	2,700 (R8)	2,209 (R8.1)
	⑤	お引き合わせ成立数	件	マッチング* 390 婚活サポーター 70 (R8)	マッチング* 324 婚活サポーター 64 (R8.1)
	⑥	各イベントにおける連絡先等を交換した人の割合	%	社会人 60 メタバース 60 大規模 60 (R8)	社会人 52.3 (R8.1) メタバース 51.9 (R7.11) 大規模 —
	⑦				
	⑧				